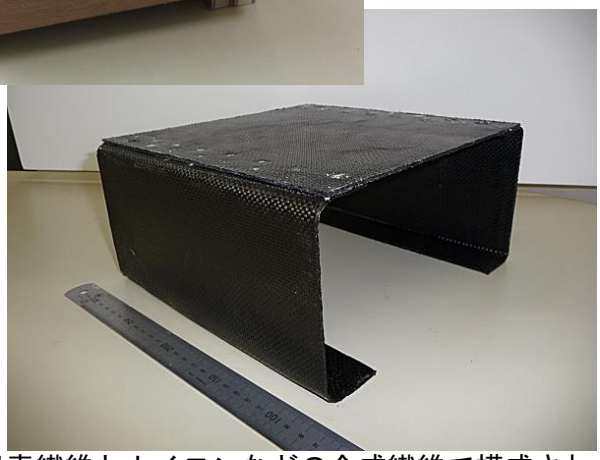
# Ｈ28 年度　西脇市ものづくり・あきない経営革新支援事業補助金　実績一覧

| No. | 事業名・成果物 | 実績 |
|---|---|---|
| 1 | 顧客満足度の高い遺品整理業の（第二）創業と<br>それに伴う他事業の受注拡大<br>（㈱アクール）<br> <br><br> <br>既存の解体業に加え遺品整理業を第二創業するにあたり、事務所及び作業場を整備することで現場での作業時間を短縮するとともに遺品の分別及び保管を行うことで顧客満足度が向上 | 補助金額：１，０００千円<br><br>【進捗状況】<br>ほぼ想定どおりのペースで事務所及び作業場の整備が完了し、スムーズに遺品整理業を開始することができた。<br><br>【成果】<br>想定よりも受注件数が少なかったものの新規オーダー受注に成功。<br>遺品整理をきっかけに他事業の受注に繋がるケースもあり、企業全体の売上増加に貢献。 |
| 2 | 美容室を活用したストールの販売<br>（㈱播）<br> <br><br> <br>美容室と提携し自社ブランドである「fabori」のストールの委託販売を展開することで、売上アップと播州織のＰＲを図ると同時にマーケット調査を行い、商品開発を実施 | 補助金額：１，６４４千円<br><br>【進捗状況】<br>１年足らずで約 120 店舗の美容室と提携し、約 80 種類 5,000 本以上のストールを作成。<br>百貨店においても、期間限定のポップアップショップを出店。<br><br>【成果】<br>直接消費者に販売することで、新たな視点でものづくりを実施することができ、売上も提携美容室店舗数の増に伴い順調に推移している。 |

| | | |
|---|---|---|
| ３ | 播州織を使用した製品縫製事業<br>（㈱excellence）<br> <br>空き工場を改修し縫製作業場を立ち上げることで、生地から縫製までの工程を同一産地内で一貫して行い、ファクトリーブランドの確立を目指す | 補助金額：３，０００千円<br><br>【進捗状況】<br>工場の改修やミシンの設置等の作業場の整備については、ほぼ想定通りのペースで推移したが、労働力の確保に苦戦し、受注には結びついていない。<br><br>【成果】<br>播州織産地において、画期的な取組であることから、多くの顧客から興味を持たれており、安定的に縫製が行えるシステムが構築できさえすれば、受注可能であることがわかった。 |
| ４ | 酒販店の新たな業態展開による経営革新。<br>西脇市をつつみ感動・感謝を贈る。<br>（㈱藤井酒販）<br> <br>多様化する消費者ニーズに対応するべく、米の新ギフトを開発すると同時に、ギフトショップという新業態のイメージ定着に向けて店舗外装工事を実施 | 補助金額：２９７千円<br><br>【進捗状況】<br>店舗外装工事は予定通りのスケジュールで完了。ギフト開発に関しては、箱入りのセットのみの開発となったが、高評価を得られている。<br><br>【成果】<br>看板設置によりギフトショップとしての位置付けができた上に、ＳＮＳを通した宣伝効果もあり、来店客数が約３倍にまで増加。お中元・お歳暮時期だけだったギフト需要が、卒入学・退職・結婚・誕生日などの際にも利用されるようになった。 |

| | | |
|---|---|---|
| 5 | 「食から地域の人・物・コミュニティを創造する」<br>寿司和食料理店開業<br>（大瀬良佳法）<br> <br> <br>ビュッフェ（バイキング）形式やケイタリング（出張店舗）形式の寿司和食料理店を開業 | 補助金額：８１１千円<br><br>【進捗状況】<br>当初計画どおりのスケジュールで店舗工事・開店準備が整い、オープン以来、特にランチタイムについては順調に客足も伸びており、リピーターを獲得できつつある。<br><br>【成果】<br>１ヶ月の来店客数・売上高は当初目標を上回る数字で現状推移しており、想定以上の盛況ぶりとなった。<br>ＳＮＳを通した広告宣伝効果もあり、主婦層を中心に集客にも成功。 |
| 6 | イタリアンレストラン「ラマーノ」開業<br>（長谷川寛行）<br> <br><br> <br>元々飲食店として使用されていた店舗にピッツァ用の石窯を設置し、イタリアンレストランを開業 | 補助金額：６８９千円<br><br>【進捗状況】<br>当初計画どおりのスケジュールで店舗工事・開店準備が整い、平成 28 年 11 月 25 日（金）にオープン。<br>想定を上回る来客数・売上を達成できている。<br><br>【成果】<br>石窯を設置したことで、ピッツァメニューの幅が広がったことで、新規顧客を獲得することができた。<br>２階パーティールームにおいて、イベントを初開催したところ、数多くの来店があったため、今後も様々なイベントを開催予定。 |

<table>
<tr>
<td>7</td>
<td>電動ツインシェードの高付加価値商品化へ向けた改良開発事業<br>（廣田縫工㈱）<br> <br>平成 27 年度に立ち上げた「異業種地場産業による共同製品開発・販路開拓プロジェクト」において開発に成功した電動ツインシェードの商品化に向けた改良開発を実施</td>
<td>補助金額：９５３千円<br><br>【進捗状況】<br>当初の計画から遅れはあるものの、改良設計・改良試作については完了。<br>得意先と機能条件等の打ち合わせを頻繁に行い、１日でも早い製品化に向けて取り組んでいる。<br><br>【成果】<br>従来の大手メーカーの下請加工に加え、技術の複合による商品提案の可能性が大きく飛躍した。<br>改良開発についても、遅れはあるものの、無事に課題を克服することができた。</td>
</tr>
<tr>
<td>8</td>
<td>炭素繊維複合糸織物を用いた強化木材の開発<br>（宮田布帛㈲・藤邦織物㈱）<br> <br>  <br>特許技術である、炭素繊維とナイロンなどの合成繊維で構成された複合糸で製織した炭素繊維複合織物と木材を複合化することで、優れた強度と剛性を有した材料を開発</td>
<td>補助金額：８１０千円<br><br>【進捗状況】<br>既存の積層材と比較して約２倍の強度と約５倍のエネルギー吸収性に優れた材料開発に成功。<br>高機能の踏み台や磨耗部材の開発にも取り組み、順調に推移している。<br><br>【成果】<br>残念ながらコスト等の問題により、強化木材については事業化につながっていないものの、踏み台や磨耗部材については、展示会出展や特許出願等の製品化に向けた取組を行えるまで進めることができつつある。</td>
</tr>
</table>

| | | |
|---|---|---|
| ９ | 企画開発室立ち上げによる新素材生地開発（提案力アップ）<br>（東播染工㈱）<br> <br>企画開発室を立ち上げ、新素材生地を開発し、提案力を高めると同時に、新たにデザイナーを採用し、従来の受け身の仕事のやり方から企画提案型営業スタイルへの変革を志向 | 補助金額：１，１７７千円<br><br>【進捗状況】<br>企画開発室立ち上げは当初計画どおりのスケジュールで完了。新素材生地開発については、種類によるが概ね順調に開発に成功。<br><br>【成果】<br>自社で製造出来る強みを活かし、企画提案が可能となった結果、従来は取引のなかった業態とも接点が持てるようになり、新規顧客とのつながりも生まれ、今後売上増につながる予定。 |